

# 光ディスクによる登録票保存

高山 喜美子\*

## はじめに

多くの登録室が、増加する一方の登録資料の保管スペースの問題に悩まされている。千葉県も例外ではなく、地域がん登録専用の室を持たないため、一層深刻な問題となっている。

千葉県がん登録では、資料の保管方法について検討を行い、光ディスク電子ファイリングシステム (EFS) が、保管 (記録) 方法が簡便で、再現性が良く、保管スペースの縮小効果が大きい事を認めた。

そこで、平成5年から EFS による登録資料の保存を開始した。資料の検索、閲覧等、日常の登録業務に活用され、十分効果を発揮しているので、ここに紹介する。

## 方法と結果

### (1) EFS について

千葉県の採用モデルは、富士通の EFS 50 で、5 インチの光ディスクを使用する。資料は、A4 サイズまで、記録保存できる。

装置の構成を、図1に示した。

記録させたい資料は、スキャナー (④または⑤) から読み込む。読みとられた資料は、②ディスプレイに表示されるほか、⑦光ディスク装置内の光ディスクに記録される。記録された資料の文書番号やキーワードは、⑧キーボードから入力する。これら EFS の機能について、図2に示した。

スキャナーの④自動給紙装置は、東 (最大

コピー用紙 50 枚程度) にしてセットした資料を自動的に1枚ずつ読み取り、記録する。

書籍や綴じられた資料は、⑤のフラットベッドから読みとりを行う。

スキャナーは、A4 の書類1枚を 5.5 秒で、読み取りを完了する。

### (2) ファイルの構成

光ディスクは、A面とB面の2面に記録ができ、片面が一つのキャビネットとなっている。中に引き出しとしてのドロアが10個、更にフォルダー (ガイド) が199段階、設定できる。

千葉では、フォルダーを2段階使用し、1段目に登録年、2段目を登録月として整理し、さらに100枚ずつまとめて1文書として保管している。

### (3) 記録容量

1枚の光ディスク片面で、A4書類約10,000枚の記録が出来る。

千葉県がん登録の届出数は、年間約13,000枚 (A5サイズ)、死亡票が約10,000枚 (A4サイズ) なので、ほぼ1年分の届出票と死亡票が1枚の光ディスクに記録することができる。

### (4) 記録した資料の検索について

このシステムには検索機能が有り、資料を記録する際にキーワードを入力しておけば、

\*千葉県がんセンター 疫学研究部

〒260-0081 千葉市中央区仁戸名町 666-2 TEL 043-264-5431 FAX 043-262-8680

希望の条件を満たす資料のみを抜き出すことができる。キーワードは全角文字10文字まで、最大10個まで設定が可能である。

しかし、キーワードの入力は、手間がかかる上、千葉県では、検索は電算機で行えるので、入力していない。

EFSは、資料の保管目的に使用しているので、特定の受付番号の届出票を抜き出すのに便利のように、ファイル構成した。千葉県が登録の受付番号は、受付年月別の連続番号になっているので、100枚ずつ1文書にすると、1枚の届出票が1ページに相当し、受付番号の下2桁の番号と合致する。

そこで、入力毎に届出票の受付番号を入力しなくても、目的の受付番号の届出票をたやすく抜き出すことができる。このように記録方法として、自動給紙を利用し、効率良く記録を行っている。

#### (5) バックアップシステムについて

このEFSモデルには、さらにもう1台の光ディスク装置が外部増設できる。光ディスクが損傷を受けるような不測の事態に備えて、バックアップのディスクの作成は、必ず行う必要がある。

図1. EFS装置の構成

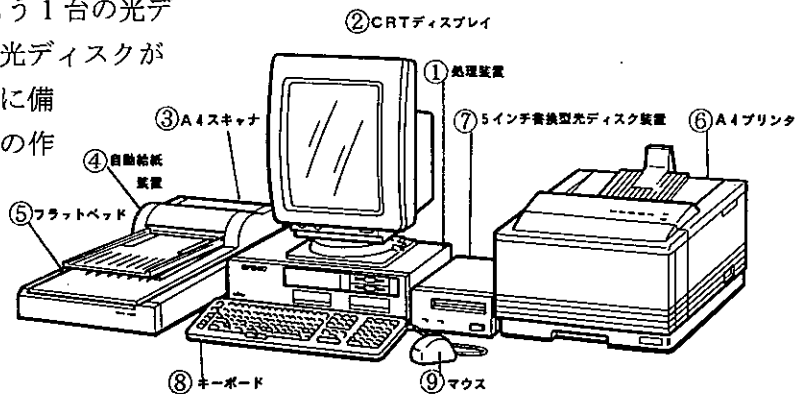
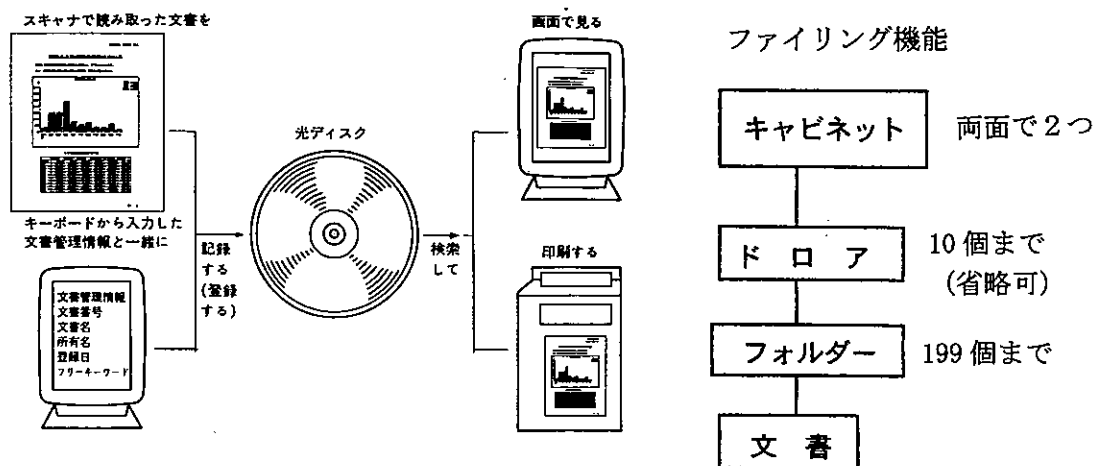


図2. EFSの機能



#### まとめ

新しい届出票や死亡票は閲覧頻度が多く、照合作業など、キャビネットに保管した原票を使用する方が効率が良い。このシステムは、数多くの資料の閲覧には適していないので、使用頻度の多いものは、キャビネット保管と併用せざるを得ない。

千葉県では、一人の届出票が複数届け出された時、1カ所にまとめる作業を行う。票の移動を行う際に票が別のところに紛れ込んでしまうことがある。膨大な資料の中から、その原票を探し出すことは大変難しいが、光ディスクに記録されていれば、たやすく内容の確認ができ、作業が滞ることが無くなった。このようにEFSと原票使用の併用により、効率良く登録作業を行うことができる。

EFSは、コスト、操作および記録方法の簡便さ、再現性の良さ、保管スペースの縮小と膨大な資料の保管方法としては、満足のいくシステムと思われる。